



2020年11月6日
東日本旅客鉄道株式会社

ボッチャ日本代表へ練習環境を提供します！

東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)はESG経営を実践し、事業を通じて社会課題の解決やSDGs※1の達成に取り組んでいます。

このたび、JR東日本総合研修センター（福島県白河市）において、一般社団法人日本ボッチャ協会※2ボッチャ日本代表に対して、11月12日（木）～15日（日）の期間に、合宿の練習環境を提供することとなりました。

引き続き、障がいの有無や年齢等にかかわらず楽しむことが可能なボッチャを通じ、共生社会の実現と地域社会への貢献に努めてまいります。

※1 SDGs：国連サミットで採択された2016年から2030年までの国際目標のことで、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

※2 JR東日本は、2020年8月1日より一般社団法人日本ボッチャ協会のゴールドパートナーとなっています。

1. 合宿期間 2020年11月12日（木）～11月15日（日）（見学等はできません。）
2. 参加選手 杉村 英孝 選手、廣瀬 隆喜 選手（予定）
3. 練習環境の提供

JR東日本総合研修センター（福島県白河市）内に、国際大会で使用するボッチャコート（2面）を配備し、練習環境を提供します。



※写真は2020年9月20日（日）～9月22日（火）の合宿時のものです。

4. ボッチャについて

ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツであり、東京2020パラリンピックの正式な競技です。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当たったりして、いかに近づけるかを競います。